

ジカウイルス感染症(ジカ熱)

県感染症情報センター

なき声 感染症を 知る ◆24◆

の代々木公園で大流行した Dengue 熱を覚えておられる方も多いと思

いますが、症状は Dengue 熱よりも軽症と言わ

れています。ただし、妊娠中に母

親が感染すると、おな

の潜伏期間の後、軽度

の不顕性感染(感染して

いない)が、約80%が

見られます。また、ギラン・バ

レ症候群という、運動

神経に障害が残る疾

病は中南米及びその周辺

地域で大流行していま

す。特に、ジカウイルス

が広がっているブラジ

ルで、小頭症の新生児

及び胎児が急増(ブラ

ジル保健省の発表によ

ると2015年10月か

ら2016年1月の4

月間で4700人以上)が報告されています。また、性行為により感染するとの報告もあり、特に流行地から帰国した男性で妊娠中のパートナーがいる場合には、パートナーの妊娠期間中は、症状の有無にかかわらず、性行為を行う場合はコンドームを使用することが推奨されています。

カウイルス感染と小頭症の関連が浮き彫りになりました。妊娠のどの時期に感染すると胎児が小頭症になるのかなど、まだよく分かっていない事が多いため、妊娠期間中はずっと(妊娠が分かる前も含めて)注意が必要で、さらに、性行為により感染するとの報告もあり、特に流行地から帰国した男性で妊娠中のパートナーがいる場合には、パートナーの妊娠期間中は、症状の有無にかかわらず、性行為を行う場合はコンドームを使用することが推奨されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

また、ギラン・バレ症候群という、運動神経に障害が残る疾患は中南米及びその周辺地域で大流行しています。特に、ジカウイルスが広がっているブラジルで、小頭症の新生児及び胎児が急増(ブラジル保健省の発表によると2015年10月から2016年1月の4月間で4700人以上)が報告されています。

妊婦感染で胎児障害

厳密な防蚊対策必要

WHO(世界保健機構)は2月1日に、ジカウイルス流行地域の小頭症と神経障害の集団発生に関して、「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態」を宣言しました。

この緊急事態宣言を受け、日本でも対応の強化、治療・予防法の研究開発などが実施さ

る感で、日本でも対応の強化、治療・予防法の研究開発などが実施さ